

令和5年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	北海道		市町村類型	政令指定都市	指定団体等の指定状況		区分		令和5年度(千円)		令和4年度(千円)		区分		令和5年度(千円・%)		令和4年度(千円・%)	
					財政健全化等	×	歳入総額	1,209,468,652	1,227,839,677	実質収支比率	1.1	1.4						
市町村名	札幌市		地方交付税種地	1-8	財源超過	×	歳出総額	1,200,091,653	1,215,838,738	経常収支比率	95.4	94.9	(100.0)	(101.6)				
					首都	×	歳入歳出差引	9,376,999	12,000,939	(※1)								
人口	令和2年国調(人)	1,973,395	産業構造(※5)		中部	×	翌年度に繰越すべき財源	3,125,735	4,179,589	標準財政規模	553,530,274	541,516,226	0.71	13.2				
	平成27年国調(人)	1,952,356			近畿	×	実質収支	6,251,264	7,821,350	財政力指数	0.71	0.72						
	増減率(%)	1.1			単年度収支	-1,570,086	-2,140,318	公債費負担比率	13.6	13.2								
住民基本台帳人口(※7)	令06.01.01(人)	1,956,928	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金	587	534	健全化判断比率							
	うち日本人(人)	1,939,061	第1次	3,983	3,790	指数表選定	○	積立金取崩し額	2,500,000	3,200,000	実質赤字比率	-	-					
	令05.01.01(人)	1,959,512		0.5	0.5	実質単年度収支	-4,069,499	-5,339,784	実質公債費比率	2.9	2.9							
	うち日本人(人)	1,943,861	第2次	115,924	118,503	基準財政収入額	319,729,869	310,498,369	将来負担比率	18.2	21.8							
	増減率(%)	-0.1		14.2	15.4	基準財政需要額	450,443,774	429,744,956	資金不足比率(※4)									
	うち日本人(%)	-0.2	第3次	697,967	645,868	標準税収入額等	397,413,384	385,868,656										
面積(km ²)	1121.26	85.3		84.1	経常経費充当一般財源等	532,463,168	524,557,852											
人口密度(人/km ²)	1,760				歳入一般財源等	668,851,128	647,510,388											
世帯数(世帯)	969,161																	
職員の状況(※8)																		
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	1,103,281,024	1,098,123,121							
	市区町村長	1	12,800		一般職員	10,682	31,939,180	2,990	うち公的資金	14,813,554	16,177,557							
	副市区町村長	3	10,300		うち消防職員	1,820	5,325,320	2,926	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	575,021,441	551,748,032							
	教育長	1	8,300		うち技能労務職員	1,017	3,059,136	3,008	債務負担行為額(支出予定額)	302,814,204	274,888,225							
	議会議長	1	10,400		教育公務員	8,901	31,044,115	3,488	収益事業収入	4,740,568	4,804,143							
	議会副議長	1	9,500		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	52,025,904	58,232,211							
	議会議員	66	8,600		合計	19,583	62,983,295	3,216	財政調整基金	28,893,163	27,892,576							
						ラスパイレズ指数			99.4	積立金現在高	198,636	389,585						
										減債基金	82,511,320	71,584,462						
										その他特定目的基金								
一般会計等の一覧																		
項番	会計名	事業会計の一覧			公営企業(法適)の一覧			公営企業(法非適)の一覧			関係する一部事務組合等一覧			地方公社・第三セクター等一覧				
(1)	一般会計	(6)	後期高齢者医療会計	(10)	病院事業会計	(16)	北海道市町村備荒資金組合	(19)	(公財)札幌市中小企業共済センター									
(2)	土地区画整理会計	(7)	駐車場会計	(11)	中央卸売市場事業会計	(17)	北海道後期高齢者医療広域連合	(20)	(一財)札幌市住宅管理公社									
(3)	母子父子寡婦福祉資金貸付会計	(8)	国民健康保険会計	(12)	軌道整備事業会計	(18)	石狩西部広域水道企業団	(21)	(一財)さっぽろ水道サービズ協会									
(4)	基金会計	(9)	介護保険会計	(13)	高速電車事業会計			(22)	(公財)さっぽろ青少年女性活動協会									
(5)	公債会計	(14)	水道事業会計	(15)	下水道事業会計			(23)	(一財)札幌産業流通振興協会									
								(24)	(一財)札幌市下水道資源公社									
								(25)	(一財)札幌市スポーツ協会									
								(26)	(公財)札幌市公園緑化協会									
								(27)	(一財)札幌勤労者職業福祉センター									
								(28)	(公財)札幌市芸術文化財団									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	353,772,974	29.3	323,089,271	60.7
地方譲与税	5,457,634	0.5	5,457,634	1.0
利子割交付金	88,565	0.0	88,565	0.0
配当割交付金	820,154	0.1	820,154	0.2
株式等譲渡所得割交付金	945,231	0.1	945,231	0.2
分離課税所得割交付金	380,347	0.0	380,347	0.1
地方消費税交付金	52,879,776	4.4	52,879,776	9.9
ゴルフ場利用税交付金	109,317	0.0	109,317	0.0
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	44,583	0.0	44,583	0.0
軽油引取税交付金	6,719,953	0.6	6,719,953	1.3
自動車税環境性能割交付金	612,717	0.1	612,717	0.1
法人事業税交付金	4,153,173	0.3	4,153,173	0.8
地方特例交付金等	2,486,299	0.2	2,486,299	0.5
地方特例交付金	2,393,987	0.2	2,393,987	0.4
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	92,312	0.0	92,312	0.0
地方交付税	135,982,796	11.2	130,713,905	24.5
普通交付税	130,713,905	10.8	130,713,905	24.5
特別交付税	5,268,856	0.4	-	-
震災復興特別交付税	35	0.0	-	-
(一般財源計)	564,453,519	46.7	528,500,925	99.2
交通安全対策特別交付金	564,044	0.0	564,044	0.1
分担金・負担金	1,855,896	0.2	-	-
使用料	10,943,221	0.9	2,486,799	0.5
手数料	8,818,760	0.7	25,651	0.0
国庫支出金	316,544,588	26.2	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	52,216	0.0	52,216	0.0
都道府県支出金	66,308,631	5.5	-	-
財産収入	12,904,694	1.1	747,630	0.1
寄附金	3,600,959	0.3	-	-
繰入金	18,805,557	1.6	-	-
繰越金	7,544,054	0.6	-	-
諸収入	107,011,513	8.8	139,589	0.0
地方債	90,061,000	7.4	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	25,402,000	2.1	-	-
歳入合計	1,209,468,652	100.0	532,516,854	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	317,423,253	89.7	3,623,058	
法定普通税	317,423,253	89.7	3,623,058	
市町村民税	172,494,746	48.8	3,623,058	
個人均等割	3,411,659	1.0	-	
所得割	144,749,068	40.9	-	
法人均等割	7,214,304	2.0	-	
法人税割	17,119,715	4.8	3,623,058	
固定資産税	125,591,269	35.5	-	
うち純固定資産税	125,209,827	35.4	-	
軽自動車税	2,945,488	0.8	-	
市町村たばこ税	16,391,750	4.6	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	36,349,721	10.3	-	
法定目的税	36,349,721	10.3	-	
入湯税	373,619	0.1	-	
事業所税	8,915,456	2.5	-	
都市計画税	27,060,646	7.6	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	353,772,974	100.0	3,623,058	

区分	令和5年度	令和4年度
徴収率	99.6	99.1
現・計	99.3	98.5
(%)	99.9	99.9
年	99.5	99.5
計	99.9	99.9
純固定資産税	99.9	99.5

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	108,522,979	実質収支	528,697
下水道	18,093,803	再差引収支	-3,668,084
交通	6,821,849	加入世帯数(世帯)	242,711
病院	3,007,744	被保険者数(人)	328,638
上水道	1,637,626	被保険者	92
国民健康保険	19,085,238	保険料(料)収入額	-
その他	59,876,719	1人当り	398
		国庫支出金	-
		保険給付費	-

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	1,821,457	0.2	-	1,821,457
総務費	62,615,701	5.2	6,177,999	48,545,072
民生費	519,118,984	43.3	4,337,645	240,366,840
衛生費	86,914,318	7.2	23,133,418	42,214,962
労働費	851,279	0.1	-	529,503
農林水産業費	683,331	0.1	9,389	639,210
商工費	100,632,137	8.4	2,909,063	10,848,386
土木費	139,243,176	11.6	69,569,812	87,740,639
消防費	19,233,784	1.6	2,285,740	17,168,753
教育費	167,393,323	13.9	26,844,435	115,038,698
災害復旧費	208,950	0.0	-	183,950
公債費	94,367,651	7.9	-	91,094,731
諸支出金	7,007,562	0.6	185,713	3,281,928
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	1,200,091,653	100.0	135,453,214	659,474,129

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	647,592,962	54.0	365,232,312	329,110,873	59.0
人件費	159,935,709	13.3	135,646,907	131,380,285	23.5
うち職員給	122,112,071	10.2	103,021,026	-	-
扶助費	393,726,396	32.8	138,927,468	107,072,651	19.2
公債費	93,930,857	7.8	90,657,937	90,657,937	16.2
元利償還金	93,929,227	7.8	90,656,307	90,656,307	16.2
内訳	84,903,097	7.1	82,101,083	82,101,083	14.7
うち元金	9,026,130	0.8	8,555,224	8,555,224	1.5
うち利子	1,630	0.0	1,630	1,630	0.0
一時借入金利子	416,836,527	34.7	245,322,450	203,352,295	36.4
その他の経費	123,484,134	10.3	81,947,655	67,173,107	12.0
物件費	32,583,169	2.7	29,523,271	29,523,271	5.3
維持補修費	71,669,724	6.0	58,684,339	44,010,832	7.9
補助費等	159,429	0.0	159,429	159,429	0.0
うち一部事務組合負担金	78,151,503	6.5	62,916,630	62,118,828	11.1
繰出金	19,465,606	1.6	11,723,815	-	-
積立金	91,482,391	7.6	526,740	526,257	0.1
投資・出資金・貸付金	-	-	-	-	-
前年度繰上充用金	135,662,164	11.3	48,919,367	-	-
投資的経費計	1,643,754	0.1	560,977	-	-
うち人件費	135,453,214	11.3	48,735,417	-	-
普通建設事業費	53,665,978	4.5	3,415,574	-	-
うち補助	80,986,238	6.7	45,262,845	-	-
うち単独	208,950	0.0	183,950	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	1,200,091,653	100.0	659,474,129	-	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和5年度 北海道札幌市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	1,210,317	1,201,095	9,221	6,102	18,893	1,447,499	
2 土地区画整理会計	524	524	-	-	356	-	
3 母子父子寡婦福祉資金貸付会計	162	119	43	36	-	390	
4 基金会計	2,255	2,142	113	113	-	-	
5 公債会計	368,472	368,472	-	-	194,785	-	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

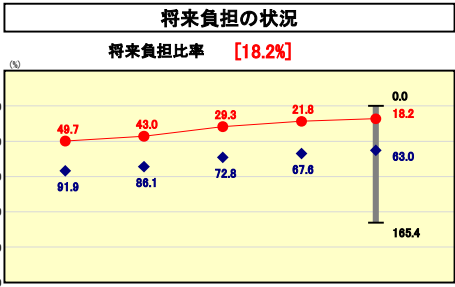
令和5年度

北海道札幌市

人	1,956,928	人(R6.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%
うち日本人	1,939,061	人(R6.1.1現在)	運 結 実 質 赤 字 比 率	-	%
面積	1,121.26	km ²	実 質 公 債 費 比 率	2.9	%
歳入総額	1,209,468,652	千円	得 来 負 担 比 率	18.2	%
歳出総額	1,200,091,653	千円	市 町 村 類 型	R01 政令市 R02 政令市 R03 政令市	
実収支	6,251,284	千円	(年 度 毎)	R04 政令市 R05 政令市	
標準財政規模	553,530,274	千円			
地方債現在高	1,103,281,024	千円			



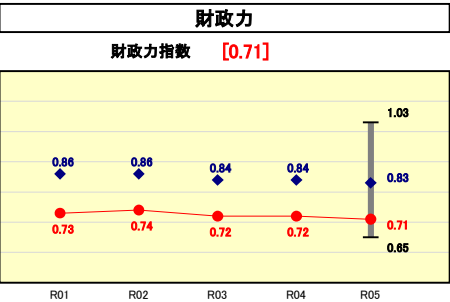
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



類似団体内順位 6/20 全国平均 6.3 北海道平均 15.7

将来負担比率の分析欄

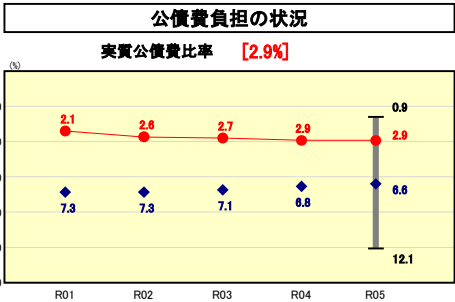
主に充当可能基金が増えたことにより、類似団体平均63%を下回る18.2%と、類似団体中6位となっている。
 今後も、本市の将来を見据えた真に必要な分野には積極的に投資を行う一方、世代間の負担の平準化を考慮しつつ、将来世代に過度の負担を残さない財政運営を継続していく。



類似団体内順位 17/20 全国平均 0.48 北海道平均 0.27

財政力指数の分析欄

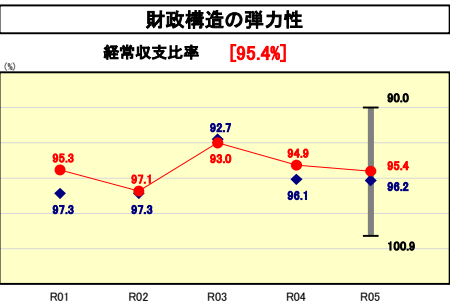
令和5年度は、地方消費税交付金、固定資産税及び市町村民税等が増加により基準財政収入額が増加したものの、臨時財政対策債振替相当額の減少等により基準財政需要額が大きく増加したため、財政力指数が低下した。
 類似団体と比較すると、収収が少ないことから類似団体の平均である0.83を下回っており、企業誘致や民間再開発の促進により税源の涵養を図るなど、財政基盤の強化に努めていく。



類似団体内順位 3/20 全国平均 5.6 北海道平均 7.1

実質公債費比率の分析欄

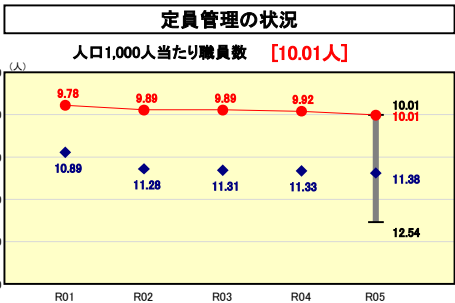
令和5年度の数値は令和3年度から令和5年度までの3か年平均で算出しており、令和2年度単年度の比率3.18%が令和5年度単年度の比率3.06%に置き変わったものの、3か年平均は昨年度同値の2.9%となり、類似団体平均6.6%を下回っている。
 また、令和5年度単年度の比率は、主に準元利償還金(満期一括償還元金)が増加したことにより、令和4年度単年度の比率3.02%と比べ、0.04ポイント増加している。
 今後も、本市の将来を見据え、真に必要な分野には積極的に投資を行う一方、世代間の負担の平準化に考慮しつつ、将来世代に過度の負担を残さない財政運営を継続していく。



類似団体内順位 8/20 全国平均 93.1 北海道平均 91.6

経常収支比率の分析欄

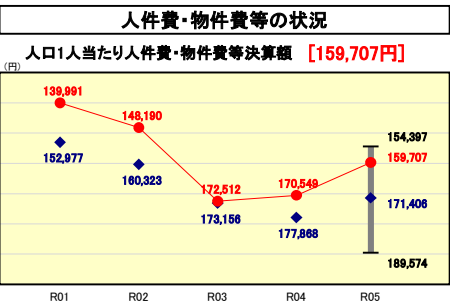
令和5年度は、臨財債の減があったが、地方交付税等の増により、昨年度から0.5%の悪化に留まった。
 本市の総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」における財政運営の取組を進めた一方、児童福祉や障がい福祉などの扶助費の増により経常的支出が増加した結果、類似団体平均96.2%を下回る95.4%と、類似団体中8位となった。今後は、扶助費等の経常的支出の増加や、公共施設の老朽化に伴う施設更新費用の増加による公債費の増加が見込まれることから、引き続き健全な財政運営の取組を行い、財政構造の弾力性向上に努めていく。



類似団体内順位 1/20 全国平均 8.32 北海道平均 10.48

人口1,000人当たり職員数の分析欄

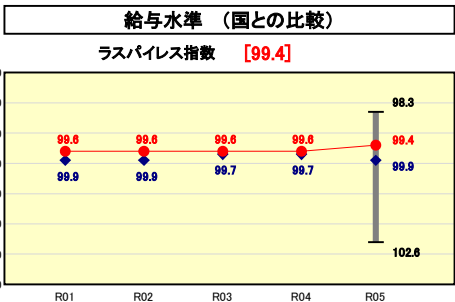
「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」における行財政運営の取組(民間活力の導入や専門性の導入を進めるべき分野の見極め等)を継続し、効率的な職員配置等に努めてきたことにより、類似団体平均11.38人を下回る10.01人と類似団体中最も低くなっている。
 今後は、高齢者の増加に伴い、保健福祉など人的資源が必要な分野における業務増の可能性のあるものの、民間活力の導入や行政DXの推進などにより、引き続き適切な定員管理に努めていく。



類似団体内順位 2/20 全国平均 158,103 北海道平均 216,027

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症対策経費の減(予防接種・陽性者対応等)や退職人数の減に伴う退職手当の減などにより、昨年度から10,842円(▲6.3%)の減となった。
 維持補修費には、類似団体ではほとんど行われていない除雪費が含まれている一方で、人件費については、効率的な職員配置に努めてきたことにより類似団体平均を大幅に下回った結果、類似団体平均171,406円を下回る159,707円と、類似団体で2番目に低くなっている。
 今後も引き続き効率的な職員配置等による人件費の見直しや、物件費の抑制に努めていく。



類似団体内順位 5/20 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.3

ラスパイレ指数の分析欄

札幌市においては、市内民間企業の給与水準との均衡を維持するため、人事委員会勧告に基づき給与の改定を行っており、ラスパイレ指数は類似団体平均99.9を下回る99.4と類似団体中5番目に低くなっている。
 今後も人事委員会勧告に基づき、給与水準の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

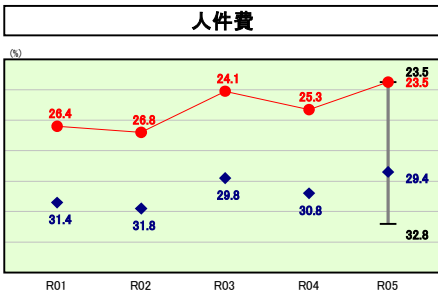
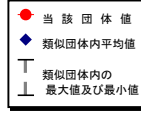
令和5年度

北海道札幌市

経常収支比率の分析

人口	1,956,928	人(R6.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	1,939,061	人(R6.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	1,121.26	km ²	実収公債費比率	2.9	%
歳入総額	1,209,468,652	千円	将来負担比率	18.2	%
歳出総額	1,200,091,653	千円	市町村類型	R01 政令市 R02 政令市 R03 政令市	
実収収支	6,251,264	千円	(年度毎)	R04 政令市 R05 政令市	
標準財政規模	553,530,274	千円			
地方債現在高	1,103,281,024	千円			

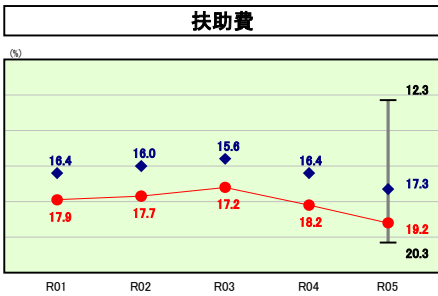
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 1/20 全国平均 25.5 北海道平均 22.4

人件費の分析欄

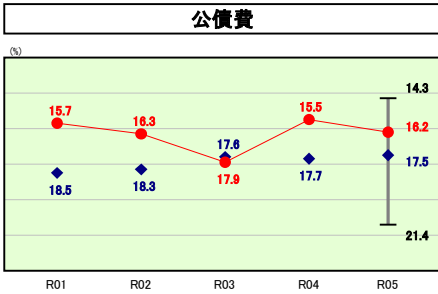
「札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」における行政運営の方針等に基づき、人件費の抑制に努めた結果、類似団体平均29.4%を下回る23.5%と類似団体中最も低くなっている。
 今後も、限られた人材の効率的・効果的な職員配置を行うとともに人事委員会勧告の状況を注視し、より適正な人件費になるよう努めていく。



類似団体内順位 16/20 全国平均 13.2 北海道平均 11.8

扶助費の分析欄

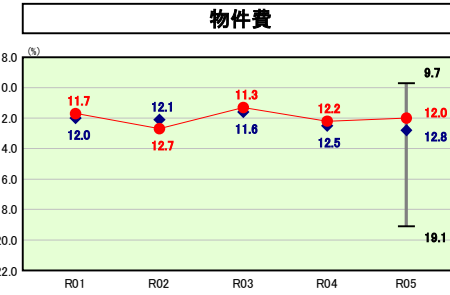
扶助費は、類似団体平均17.3%を上回る19.2%と類似団体中16位となっている。令和4年度と比較して、扶助費の経常経費に充当された一般財源等は63億円の増となっており、主に訓練等給付費や介護給付費等の社会福祉費が影響しているため、引き続き高い水準で推移することが見込まれる。
 今後も、少子高齢化等への対応のため、財政需要はさらに拡大することが想定されるが、持続可能な財政運営に努めていく。



類似団体内順位 6/20 全国平均 15.9 北海道平均 17.6

公債費の分析欄

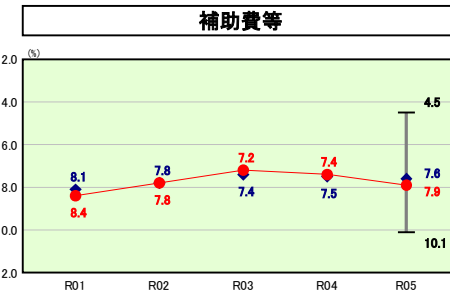
公債費は、類似団体平均の17.5%を下回る16.2%と類似団体中6位となっている。令和4年度と比較して経常経費充当一般財源等が51億円の増となったが、これは主に国から交付された臨時財政対策債償還基金費を満期一括準備金として減債基金に積立ためたためである。
 今後、老朽化する公共施設等の更新や、都市基盤の再整備などを進めるに当たって公債費の増加が想定されるため、引き続き、将来を見据えた真に必要な分野への投資を行う一方、世代間の負担の平準化を考慮し、将来世代に過度の負担を残さない財政運営に努める。



類似団体内順位 9/20 全国平均 15.2 北海道平均 14.0

物件費の分析欄

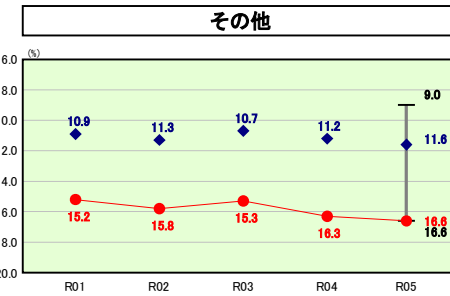
物件費は、令和4年度と比較して経常経費充当一般財源等が0.2億円の増となっているが、これに対して、全体の経常一般財源は地方交付税の増等に伴い53億円増加した。全体の経常一般財源に対する物件費の割合が減ったため、物件費の経常収支比率は昨年度から0.2%減となった。
 類似団体平均12.8%を下回る12.0%と類似団体中9番目に低くなっており、今後も引き続き物件費の縮減に努めていく。



類似団体内順位 14/20 全国平均 10.7 北海道平均 11.3

補助費等の分析欄

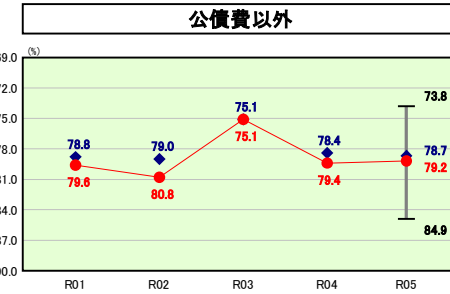
昨年度と比較して、補助費等の経常経費に充当された一般財源等は31億円の増となったため、補助費等の経常収支比率は0.5%増となった。
 類似団体平均7.6%を上回る7.9%と類似団体中6番目に高くなっており、更なる事業の見直し等により、今後も経費の縮減に努めていく。



類似団体内順位 20/20 全国平均 12.6 北海道平均 14.5

その他の分析欄

類似団体ではほとんど行われていない除雪費(令和元年度決算から順に192億円、206億円、316億円、269億円、276億円)が含まれることや、国民健康保険会計・介護保険会計への繰出金等の増加等により類似団体の中で最も高い比率となっている。
 今後も労務単価の増等による除排雪経費の増等により、この傾向は続くことが見込まれるため、引き続き事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。



類似団体内順位 13/20 全国平均 77.2 北海道平均 74.0

公債費以外の分析欄

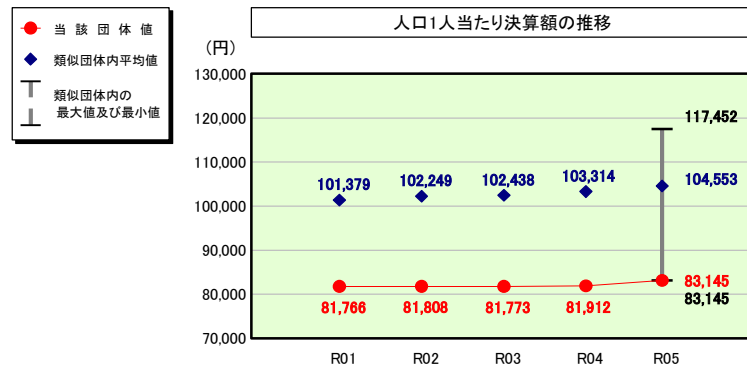
公債費を除く経常経費に充当された一般財源等は前年度から28億円の増となっているが、これに対して、全体の経常一般財源は地方交付税の増等に伴い53億円増加した。全体の経常一般財源の伸びに対して、公債費を除く経常経費に充当された一般財源等の伸びが小さかったため、公債費以外の経常収支比率は79.2%と前年度から0.2%好転し、類似団体順位は13位となった。今後も引き続き事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

北海道札幌市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

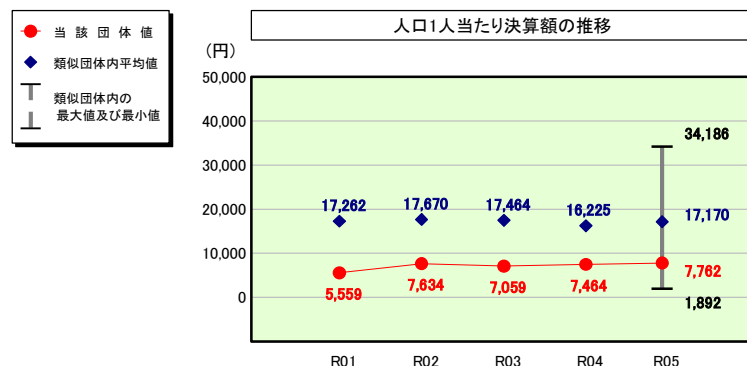
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	159,935,709	81,728	103,356	▲ 20.9
一部事務組合負担金(補助費等)	1,895	1	104	▲ 99.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,931,803	987	1,054	▲ 6.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	22,918	12	3	300.0
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	4,284,497	2,189	1,918	14.1
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,643,754	840	1,336	▲ 37.1
▲退職金	▲ 5,112,600	▲ 2,613	▲ 3,217	▲ 18.8
合計	162,707,976	83,145	104,553	▲ 20.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	10.01	11.38	▲ 1.37
ラスパイレス指数	99.4	99.9	▲ 0.5

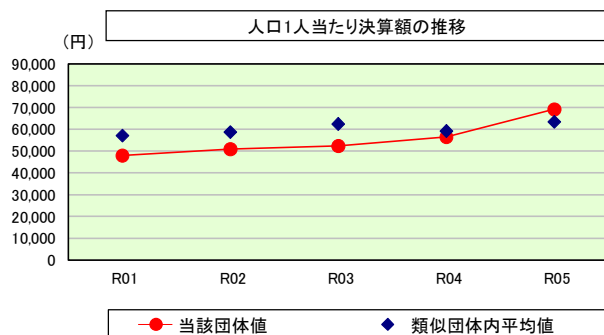
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	26,965,780	13,780	30,018	▲ 54.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	2,237	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	50,063,701	25,583	21,851	17.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	16,072,077	8,213	9,810	▲ 16.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	148	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	288,535	147	1,410	▲ 89.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 20,507,380	▲ 10,479	▲ 17,155	▲ 38.9
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 57,694,000	▲ 29,482	▲ 31,149	▲ 5.4
合計	15,188,713	7,762	17,170	▲ 54.8

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

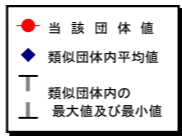
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R01	93,969,877	47,961	▲ 12.7	57,132	4.0	▲ 16.7
うち単独分	54,802,297	27,970	▲ 21.4	30,126	2.8	▲ 24.2
R02	99,964,828	50,962	6.3	58,766	2.9	3.4
うち単独分	60,088,853	30,633	9.5	29,363	▲ 2.5	12.0
R03	102,730,229	52,396	2.8	62,482	6.3	▲ 3.5
うち単独分	57,611,190	29,383	▲ 4.1	34,626	17.9	▲ 22.0
R04	110,679,646	56,483	7.8	59,288	▲ 5.1	12.9
うち単独分	71,444,052	36,460	24.1	32,670	▲ 5.6	29.7
R05	135,453,214	69,217	22.5	63,490	7.1	15.4
うち単独分	80,986,238	41,384	13.5	35,347	8.2	5.3
過去5年間平均	108,559,559	55,404	5.3	60,232	3.0	2.3
うち単独分	64,986,526	33,166	4.3	32,426	4.2	0.1

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

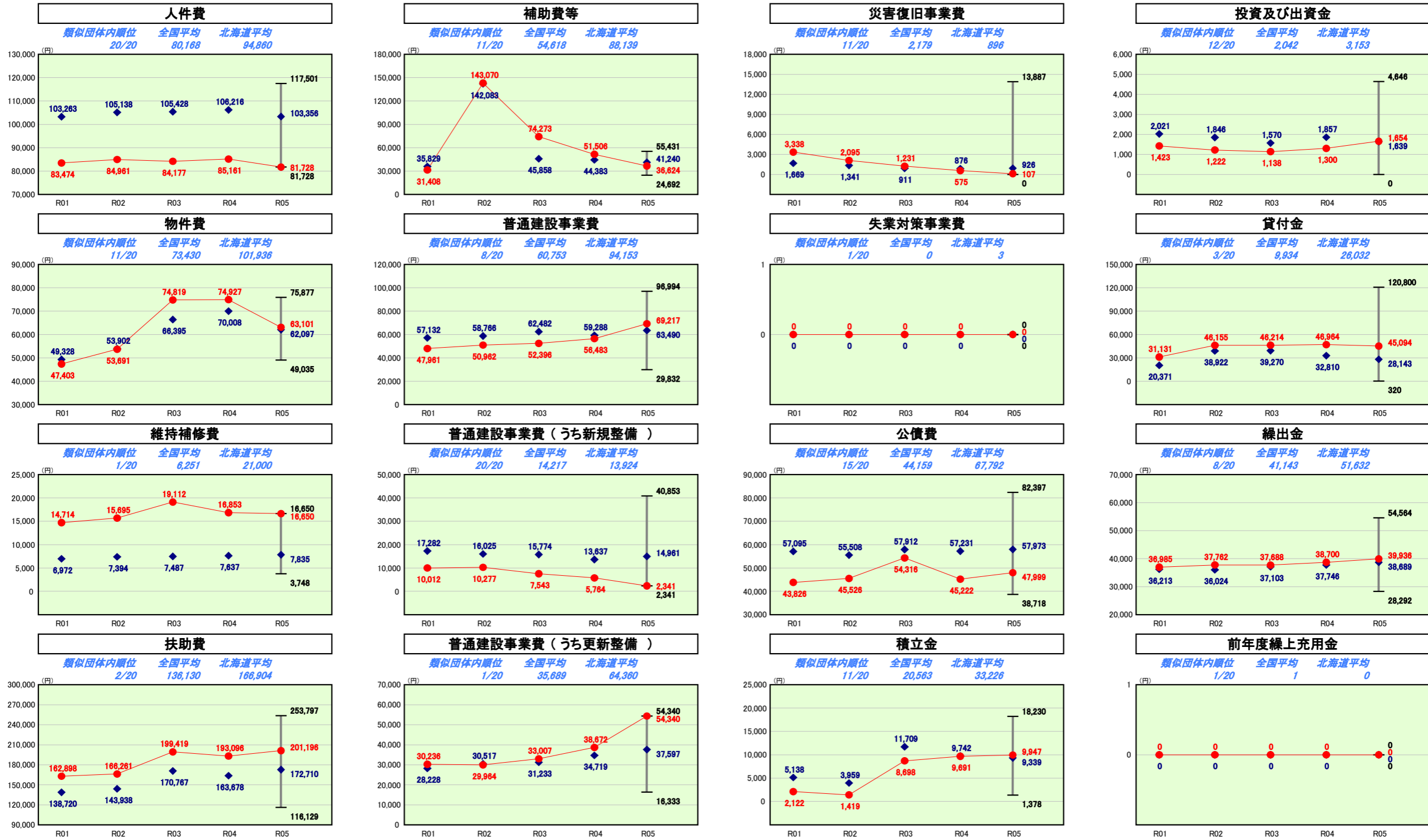
令和5年度

北海道札幌市

人口	1,956,928人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	1,939,061人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	1,121.26km ²	実質公債費比率	2.9%
歳入総額	1,209,468,652千円	将来負担比率	18.2%
歳出総額	1,200,091,653千円	市町村類型	R01 政令市 R02 政令市 R03 政令市
実質収支	6,251,264千円	(年度毎)	R04 政令市 R05 政令市
標準財政規模	553,530,274千円		
地方債現在高	1,103,281,024千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



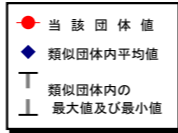
性質別歳出の分析欄
 歳出決算総額は、住民一人当たり613,253円(前年比▲7,225円、▲1.2%)となっている。主な構成項目のうち、人件費は住民一人当たり81,728円となっており、類似団体の中で最も低く推移している。引き続き、限られた人材の効率的・効果的な職員配置に努めていく。
 公債費については、住民一人当たり47,999円(前年比+2,777円、+6.1%)と、令和5年度に国から交付された臨時財政対策債償還基金費を満期一括準備金として減債基金に積み立てた影響により増となっている。
 普通建設事業費は住民一人当たり69,217円(前年比+12,734円、+22.5%)となっており、主に駒岡清掃工場更新費の増によるものである。
 維持補修費については住民一人当たり16,650円(前年比▲203円、▲1.2%)と類似団体平均の2.1倍だが、他類似団体ではほとんど行われてない除雪費が含まれていることが要因であり、直近5年の除雪費の決算額は令和元年度から順に192億円、206億円、316億円、269億円、276億円となっている。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和5年度

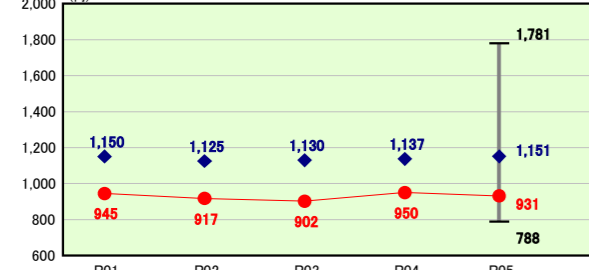
北海道札幌市

人口	1,956,928人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	1,939,061人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	1,121.26km ²	実質公債費比率	2.9%
歳入総額	1,209,468,652千円	将来負担比率	18.2%
歳出総額	1,200,091,653千円	市町村類型	R01 政令市 R02 政令市 R03 政令市
実質収支	6,251,264千円	(年度毎)	R04 政令市 R05 政令市
標準財政規模	553,530,274千円		
地方債現在高	1,103,281,024千円		

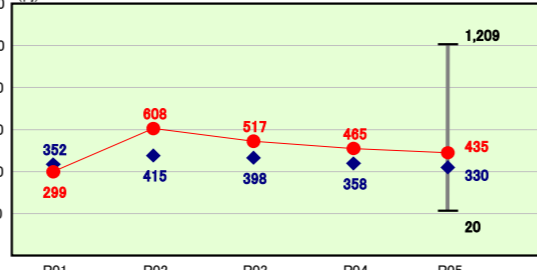


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

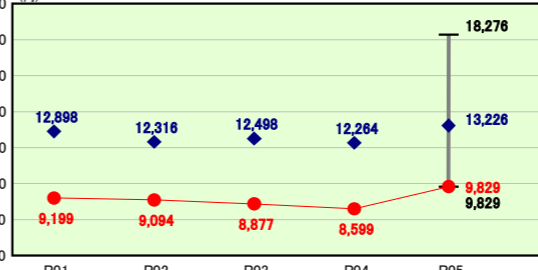
議会費
 類似団体内順位 17/20 全国平均 2,645 北海道平均 3,696



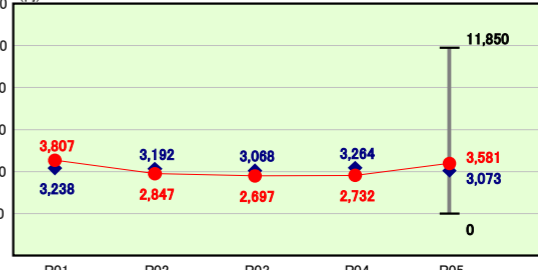
労働費
 類似団体内順位 9/20 全国平均 694 北海道平均 890



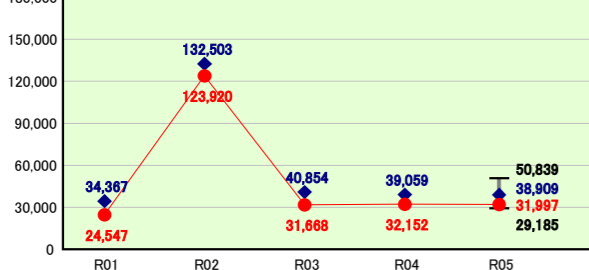
消防費
 類似団体内順位 20/20 全国平均 15,632 北海道平均 20,839



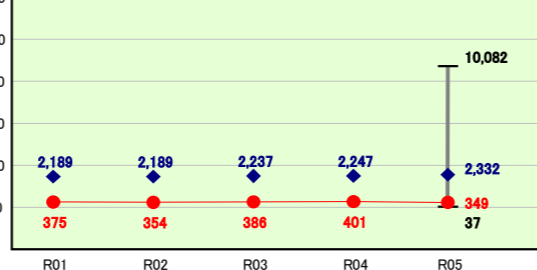
諸支出金
 類似団体内順位 6/20 全国平均 819 北海道平均 1,498



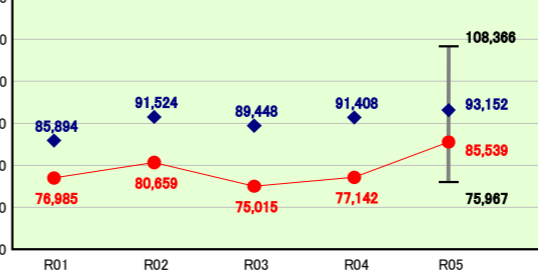
総務費
 類似団体内順位 18/20 全国平均 65,263 北海道平均 102,426



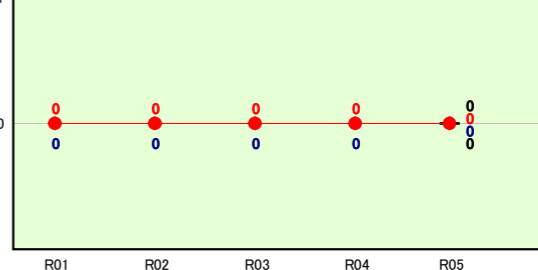
農林水産業費
 類似団体内順位 18/20 全国平均 10,909 北海道平均 28,301



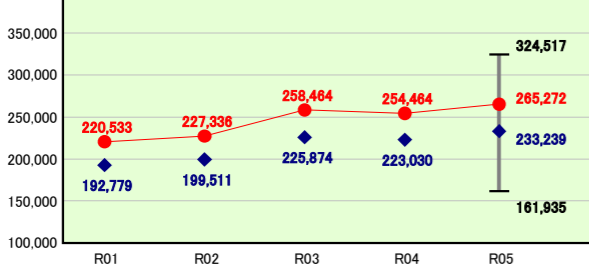
教育費
 類似団体内順位 13/20 全国平均 65,502 北海道平均 81,086



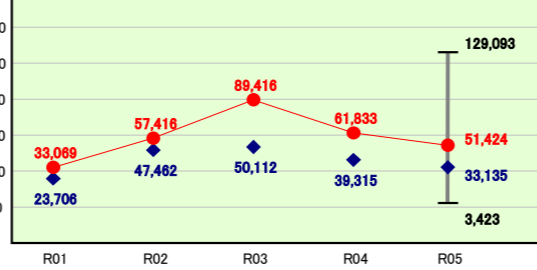
前年度繰上充用金
 類似団体内順位 1/20 全国平均 1 北海道平均 0



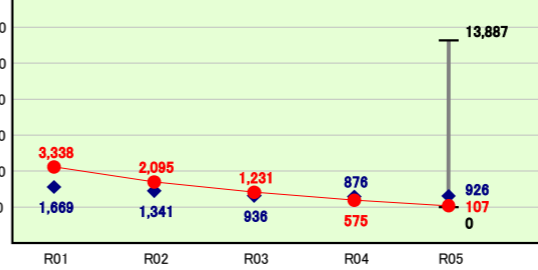
民生費
 類似団体内順位 3/20 全国平均 207,189 北海道平均 250,897



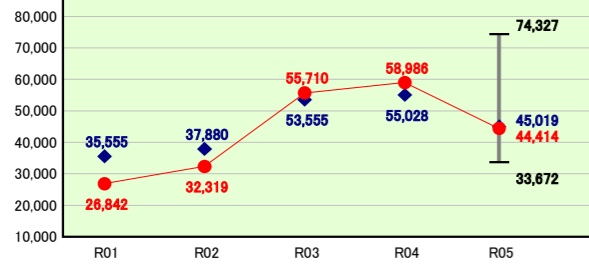
商工費
 類似団体内順位 3/20 全国平均 18,653 北海道平均 40,698



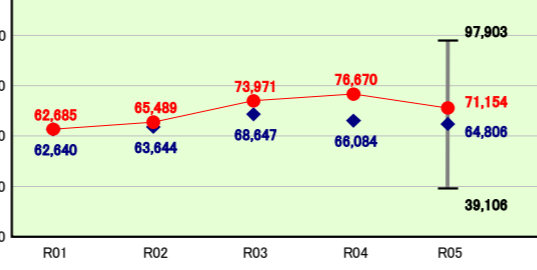
災害復旧費
 類似団体内順位 11/20 全国平均 2,184 北海道平均 896



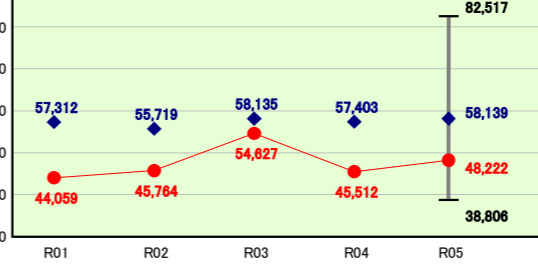
衛生費
 類似団体内順位 12/20 全国平均 46,051 北海道平均 66,621



土木費
 類似団体内順位 6/20 全国平均 51,628 北海道平均 84,000



公債費
 類似団体内順位 15/20 全国平均 44,200 北海道平均 67,878



目的別歳出の分析欄

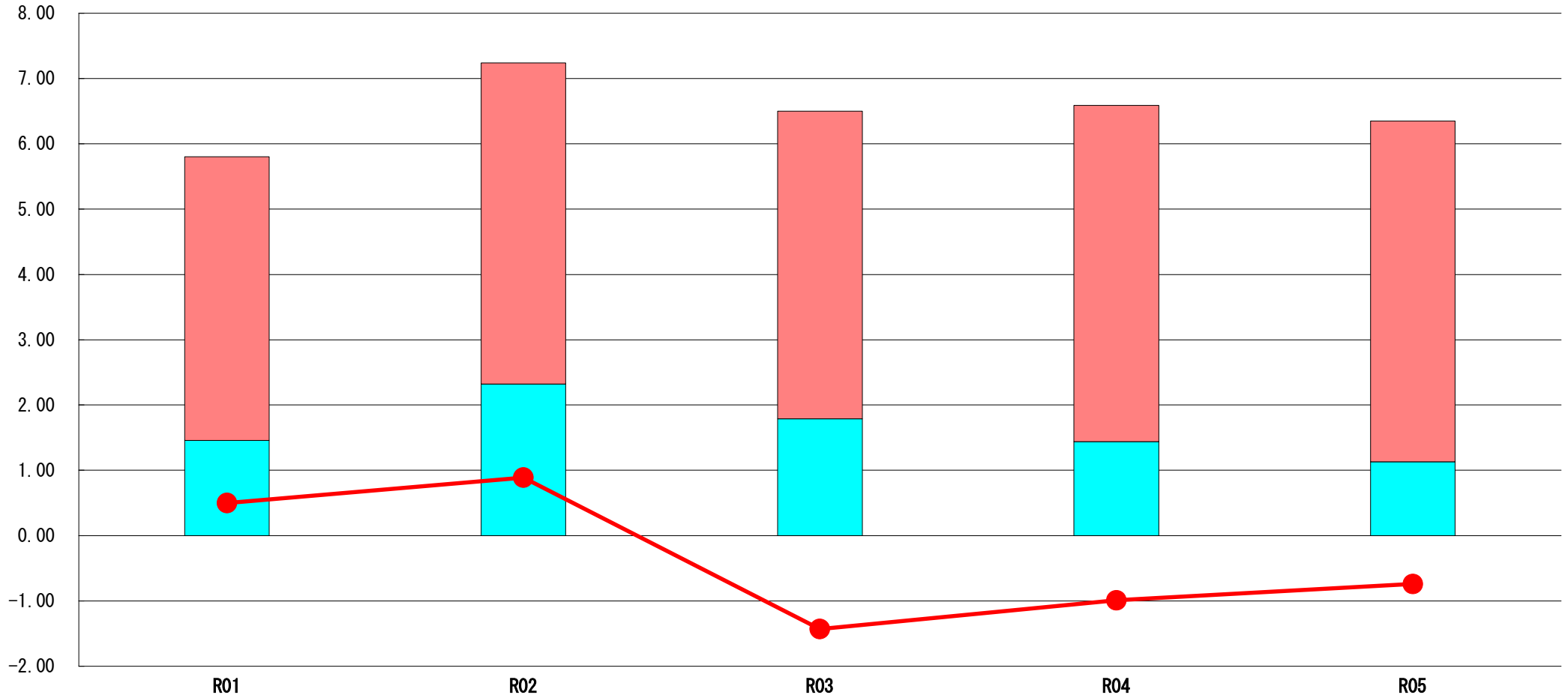
令和4年度と比較すると、衛生費は住民一人当たり44,414円(前年比▲14,572円、▲24.7%)となっており、主に新型コロナウイルス感染症5類化に伴う新型コロナウイルス感染症経費(予防接種・陽性者対応等)の減によるものである。教育費は住民一人当たり85,539円(前年比+8,397円、+10.9%)となっており、学校給食費公会計運営費の皆増や学校施設改築費の増等によるものである。商工費は住民一人当たり51,424円(前年比▲10,409円、▲16.8%)となっており、主に飲食店等感染防止対策協力支援費の減によるものである。公債費は48,222円(前年比+2,710円、+6.0%)となっているが、令和5年度に国から交付された臨時財政対策債償還基金費を満期一括準備金として減債基金に積み立てたことによる増である。
 また、民生費は住民一人当たり265,272円(前年比+10,808円、+4.2%)となっており、臨時特別給付金等の増が大きな割合を占めているが、例年と比較すると訓練等給付費や障害児通所給付費等の社会福祉費の増の影響もあり、民生費全体、ひいては一人当たりコストを押し上げる要因となっている。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)




令和5年度

北海道札幌市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
 財政調整基金残高		4.34	4.92	4.71	5.15	5.22
 実質収支額		1.46	2.32	1.79	1.44	1.13
 実質単年度収支		0.50	0.89	▲ 1.43	▲ 0.99	▲ 0.74

分析欄

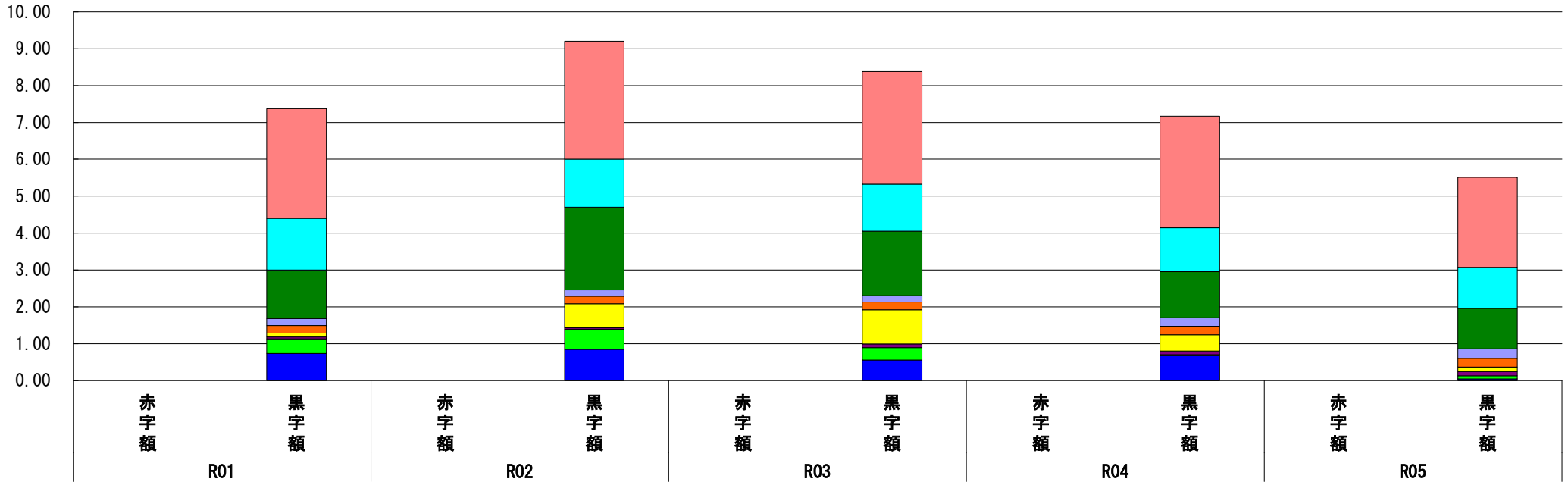
標準財政規模は標準税収入額等の増等により、前年比120億円の増となった。
 財政調整基金残高は、令和5年度で25億円の取り崩しを行ったが、剰余金の積み立てなどで近年と同水準で推移している。
 実質単年度収支額は、財政調整基金の取り崩しなどの影響で、前年度▲53億円に対し▲41億円となった結果、実質単年度収支は前年度から0.25ポイント好転し、▲0.74%となった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和5年度

北海道札幌市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

年度		R01	R02	R03	R04	R05
水道事業会計	2.97	3.20	3.05	3.03	2.44	
下水道事業会計	1.40	1.30	1.28	1.19	1.11	
一般会計	1.32	2.24	1.75	1.25	1.10	
中央卸売市場事業会計	0.19	0.17	0.17	0.23	0.26	
後期高齢者医療会計	0.20	0.21	0.21	0.23	0.23	
病院事業会計	0.11	0.65	0.93	0.44	0.13	
軌道整備事業会計	0.05	0.04	0.10	0.10	0.11	
国民健康保険会計	0.40	0.54	0.33	0.02	0.09	
その他会計 (赤字)	-	-	-	-	-	
その他会計 (黒字)	0.73	0.85	0.56	0.68	0.04	

分析欄

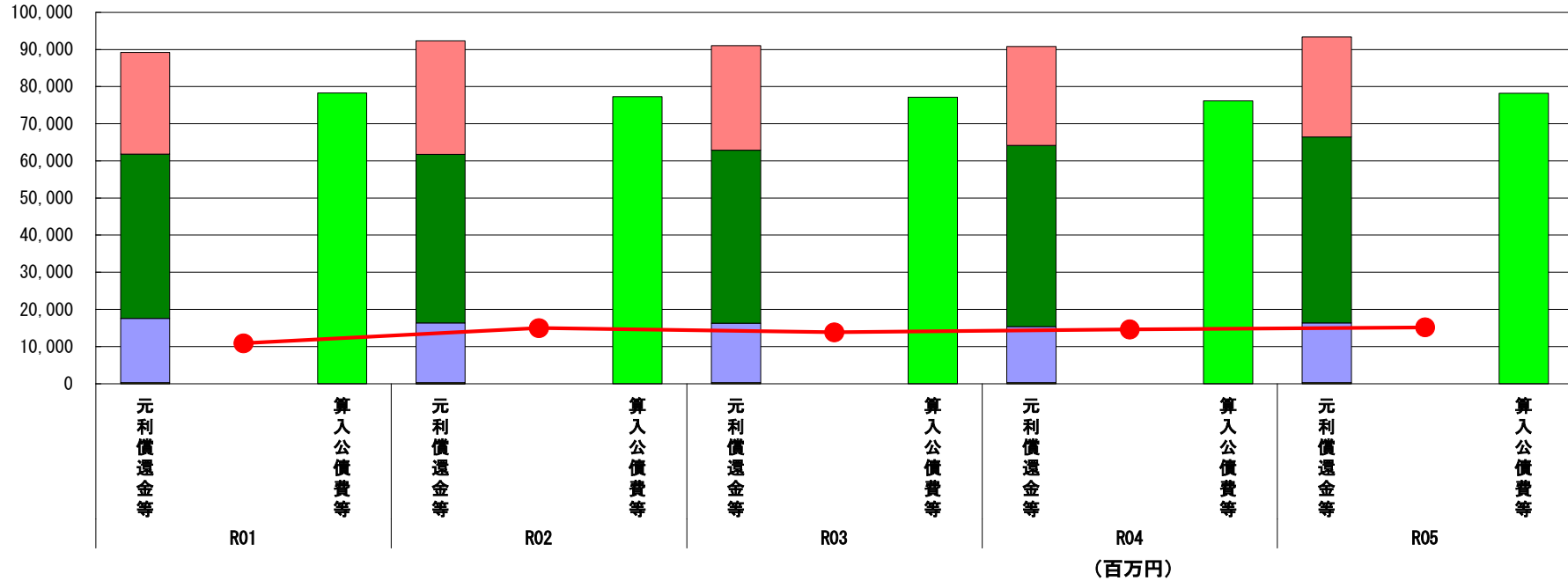
一般会計は、国庫支出金等の歳入減等が、飲食店等感染防止対策協力支援費等の歳出減等を上回ったことにより黒字幅が減少している。
 水道事業会計は、配水管更新や浄水場改修などによる建設改良費の増加に伴い、黒字幅が減少している。
 病院事業会計は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、感染症病床確保促進事業費補助金が減となったが、その減を上回るほどの診療収益が増加せず、経常収支が悪化したことにより、黒字幅が減少している。
 今後も健全な財政運営に努めていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

北海道札幌市

(百万円)



分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等(A)	元利償還金		27,362	30,550	28,149	26,628	26,966
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		44,227	45,368	46,560	48,753	50,064
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		17,336	16,081	16,033	15,103	16,072
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		278	278	292	284	289
	一時借入金の利子		-	1	0	0	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		78,312	77,306	77,192	76,142	78,201
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		10,891	14,972	13,842	14,626	15,190

分析欄

満期一括償還方式の市債発行が増えていることなどにより、実質公債費比率の分子は前年度比で564百万円増加している。

今後、老朽化したインフラや公共施設の更新需要への対応が本格化することを見据えると、後年時の公債費も増加していくことが見込まれることから、中長期的な視点を持ったうえで、建設事業費の平準化や総量の抑制による建設費の圧縮などにより、将来にわたってバランスの取れた財政運営に努めていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)						
	前年度末減債基金残高(D)						
	前年度末減債基金積立相当額(E)						

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

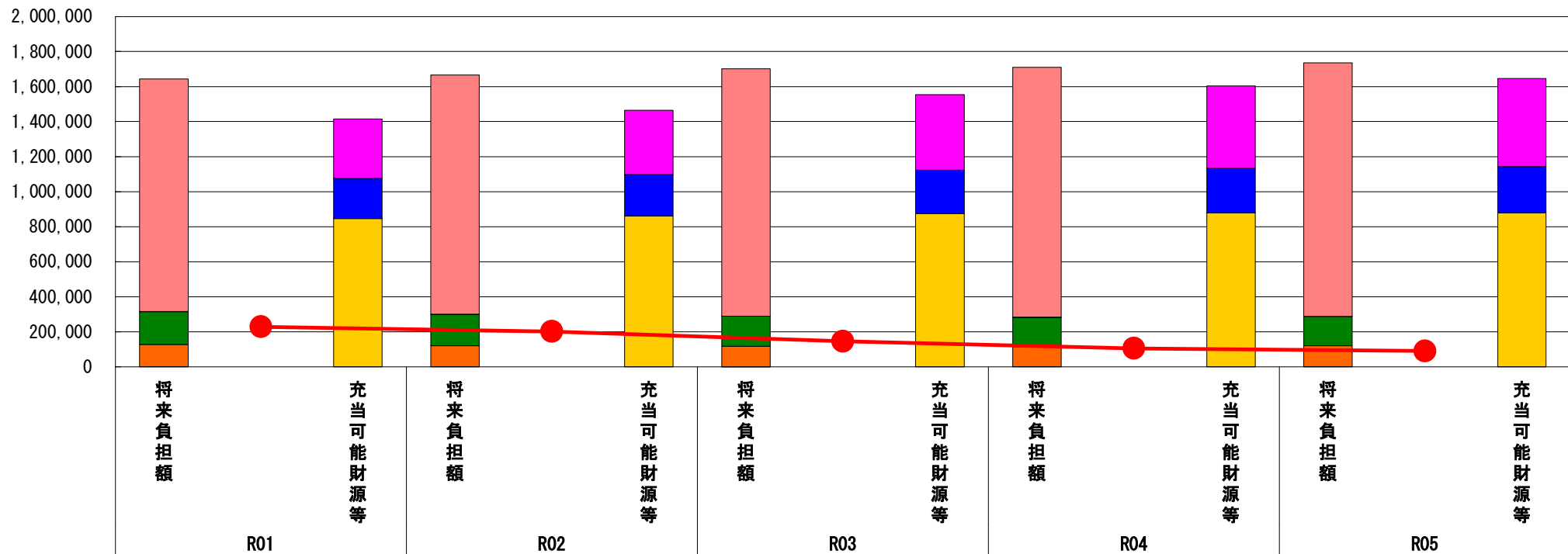
満期一括償還地方債については、本市のルールに則り確実に積み立てており、積立不足は生じていない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

北海道札幌市

(百万円)



(百万円)

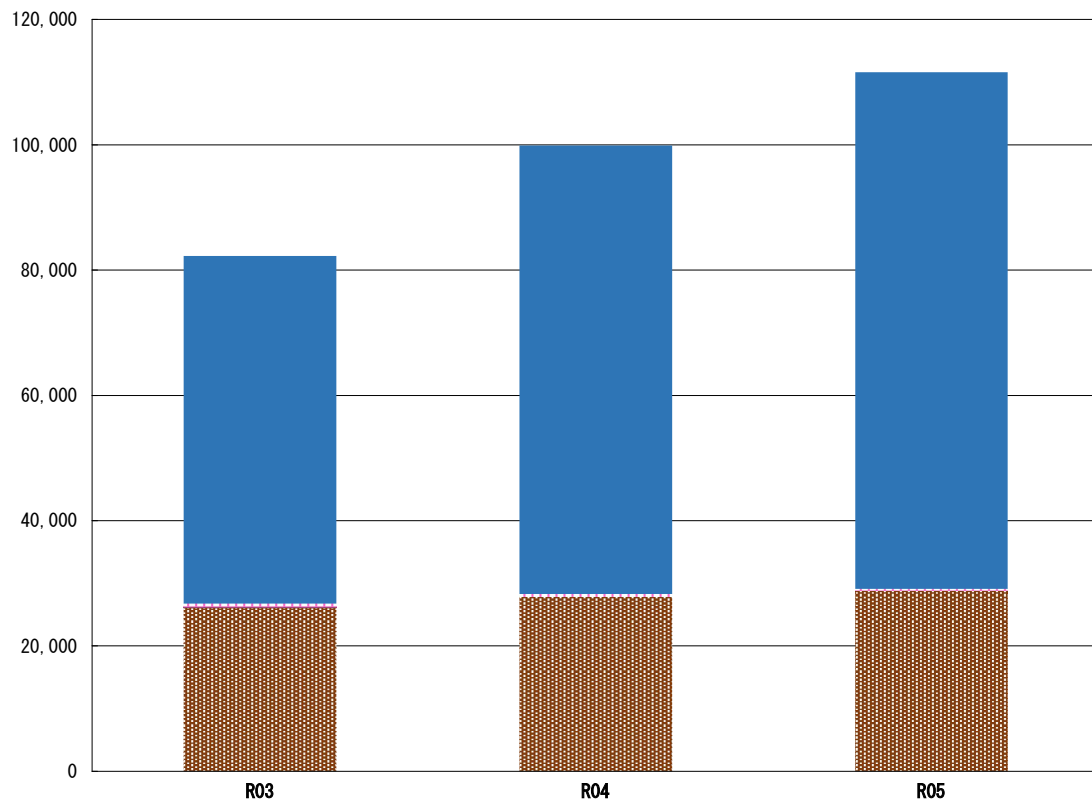
分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,326,761	1,365,904	1,410,792	1,427,355	1,447,889
	債務負担行為に基づく支出予定額		936	728	520	312	104
	公営企業債等繰入見込額		188,420	180,068	172,354	167,164	168,033
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		125,973	118,499	116,418	113,987	118,826
	設立法人等の負債額等負担見込額		1,507	1,611	951	1,355	1,579
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		339,292	366,879	431,885	471,675	503,704
	充当可能特定歳入		229,157	236,039	247,120	253,349	263,603
	基準財政需要額算入見込額		846,513	861,475	875,362	879,568	878,839
(A) - (B)	将来負担比率の分子		228,636	202,416	146,668	105,582	90,285

分析欄

将来負担額(A)では、公共施設の更新や再開発事業の推進により、地方債残高は増加した。(令和元年度に比べて1,211億円の増)
 充当可能財源等(B)では、将来の市債償還に向けて、積み立てている減債基金や、今後のまちづくりの事業を進める財源として積み立てているまちづくり推進基金の増加に伴い、充当可能基金は増加した。(令和元年度に比べて1,644億円の増)
 結果、将来負担額(A)の増加より、充当可能基金(B)の増加が上回り、将来負担比率の分子は減少している。
 今後も健全な財政運営に努めていく。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		26,192	27,893	28,893
減債基金		579	390	199
その他特定目的基金		55,495	71,584	82,511
まちづくり推進基金		35,426	50,909	64,338
札幌市職員退職手当平準化基金				3,100
奨学基金		2,247	2,390	2,450
スポーツ振興基金		2,483	2,441	2,403
霊園基金		1,997	1,873	1,890
基金残高合計		82,266	99,867	111,603

令和5年度

北海道札幌市

基金全体

(増減理由)
 ・将来の学校や公共施設等の更新時の財源として活用するため、まちづくり推進基金に137億円を積み立てたこと等により、基金全体として117億円の増となった。
 (今後の方針)
 ・中期的な財政見通しを踏まえ、今後発生する様々な行政課題に対応していくため、基金の適切な管理を行い、活用について検討していく。

財政調整基金

(増減理由)
 ・決算剰余金を35億円積み立て、25億円を取り崩したことによる増加。
 (今後の方針)
 ・札幌市アクションプラン2023の「財政運営の取組」の中で、アクションプラン最終年度である令和9年度末の残高について、少なくとも100億円以上の水準を維持することとしている。
 ・財政調整基金は、年度間の財政の不均衡を調整するためのものであり、今後の災害対応や除雪費への備えとして、一定程度の残高は維持する必要があるものと認識している。

減債基金

(増減理由)
 ・公債費償還のための取崩に伴う減少
 (今後の方針)
 ・減債基金の残額については、公債費償還の財源として取り崩していくこととする。

その他特定目的基金

(基金の用途)
 ・まちづくり推進基金:公園、学校その他の都市施設の整備、団地造成事業の円滑な運営、都市活性化のための諸事業の推進に資する。
 ・札幌市職員退職手当平準化基金:退職手当の支給に必要な財源の安定的な確保に資する。
 (増減理由)
 ・まちづくり推進基金:将来の学校や公共施設等の更新時の財源として活用するための積立額137億円が、取崩額5億円を上回ったため。
 (今後の方針)
 ・まちづくり推進基金:今後の都市基盤の整備など、将来のまちづくりを見据えた取組などへの活用を検討していく。